



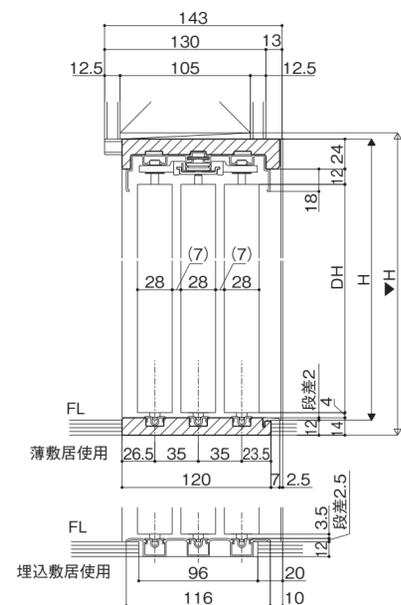
# リビング建材 ウッディーライン クローゼット引戸 連動タイプ



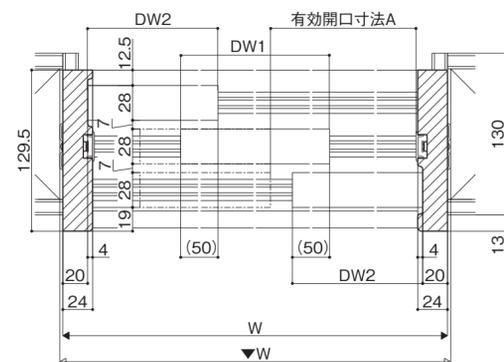
## ■納まり図

### ■クローゼット引戸ユニット連動タイプ ノンケーシング

#### ●縦断面図



#### ●横断面図

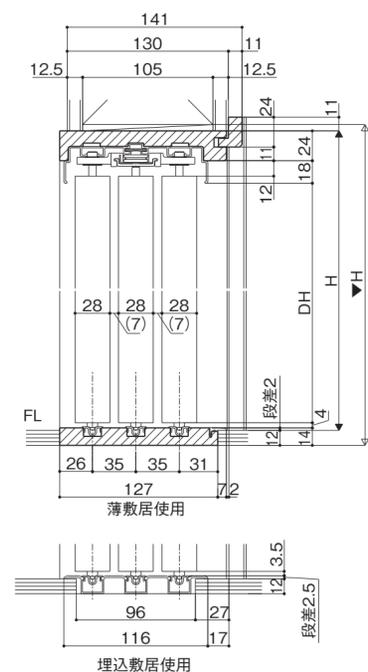


基本寸法 (mm)	W呼称	W16	W24
	W	1643	2443
	H呼称	H20	H23
H	2023	2306	

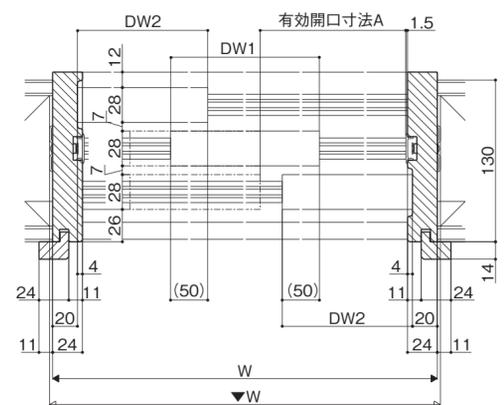
W呼称(枠外寸法)	A寸法	DW1	DW2
W16 (1643)	929.5	518	593
W24 (2443)	1462.5	785	860

### ■クローゼット引戸ユニット連動タイプ ケーシング付

#### ●縦断面図



#### ●横断面図



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときには必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具材の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は枠固定金具を調整してすき間をなくし内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合はかい木を入れてください。
- 鴨居とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

引戸連動用本体	引戸連動用枠	引戸連動用敷居
1枚梱包×3 (本体左・本体中央・本体右 各1枚)		ケーシングセット (ケーシングタイプのみ) 

## ■部品セット明細表

[枠用]	[敷居用]				[本体用]	
	皿小ねじ M4X50 (鴨居・縦枠 組立て用)	皿タッピンねじ φ3.5X50 (鴨居躯体 取付け用)	ナベタッピンねじ φ4X40 (枠固定金具 取付け用)	穴埋め シール	ガイドローラー (下枠・縦枠 組立て用)	ナベタッピンねじ φ4X30 (敷居取付け用)
1620	4	※8	6	※1	薄下枠 W16	4
1623	4	※8	6	※1	薄下枠 W24	4
2420	4	※10	6	※1	埋込下枠 W16	-
2423	4	※10	6	※1	埋込下枠 W24	-
		※予備用 4本含む		※ NC 枠のみ	埋込下枠 W16	6
					埋込下枠 W24	6
					本体左・右	各2
					本体中央	-
					ガイドローラー (本体中央用)	2

## 開口部の作り方

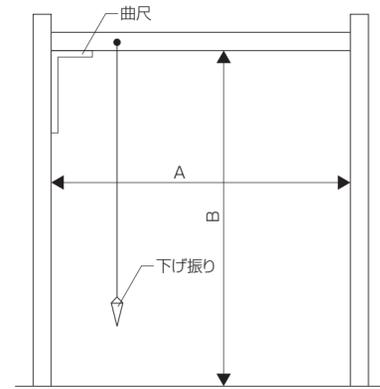
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法 W + 5mm
開口寸法B	製品寸法 H + 床厚 + 5mm

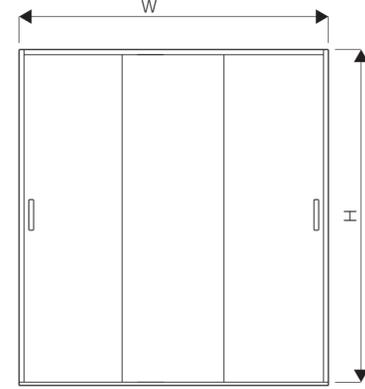
### 製品寸法表 (単位: mm)

呼称	W	H
1620	1643	2023
1623	1643	2306
2420	2443	2023
2423	2443	2306

### 開口寸法



### 製品寸法



## 床の張り方

### 【埋込敷居の場合】

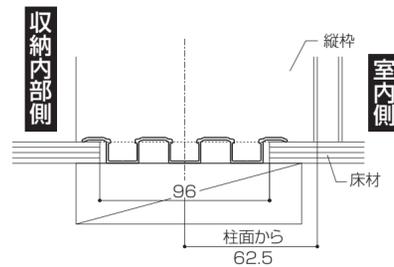
#### 床張り位置 (床張り込み)

●下図の位置に 96mm 空けて床材を張ってください。  
※ボード t=12.5 柱 105mm の場合です。

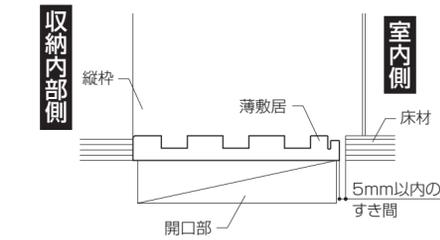
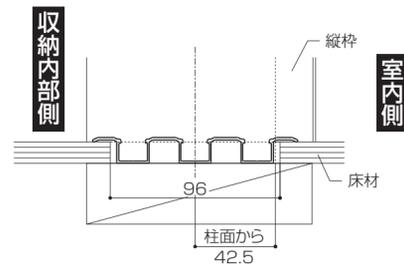
### 【薄敷居の場合】

●枠取付け後、下図のように床材を張ってください。

#### 【ケーシングタイプ】



#### 【ノンケーシングタイプ】



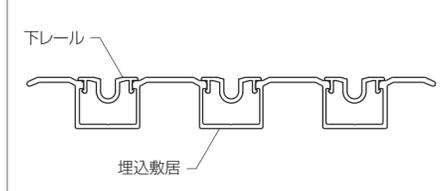
## 取付け順序

### 1 枠の組立て

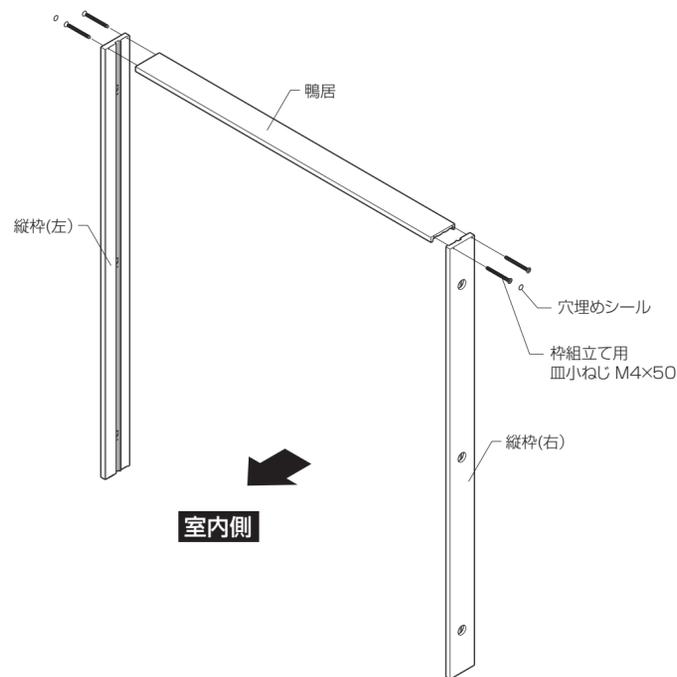
#### 【埋込敷居の場合】

●図のように各部材を組合せ、同梱のねじ (皿小ねじ M4 × 50) で固定します。

#### 埋込敷居



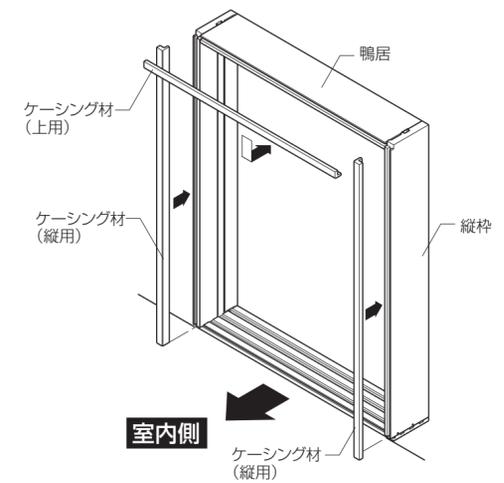
※ノンケーシング (NC) 枠の場合は、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張ってください。



## 6 ケーシング材の取付け (ケーシング付タイプのみ)

※壁材・床材を仕上げた後からケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
  - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
  - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤 (現場手配) を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。

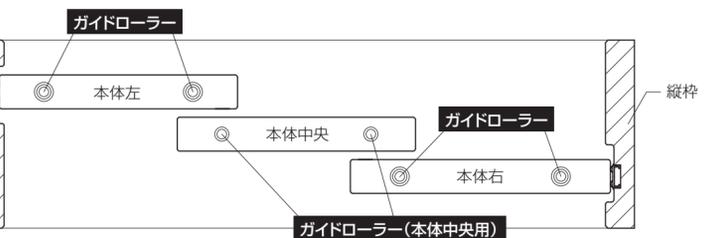
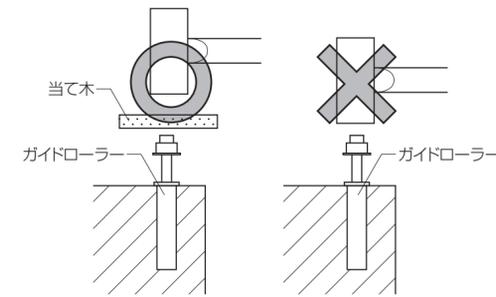


## 7 本体の吊込み

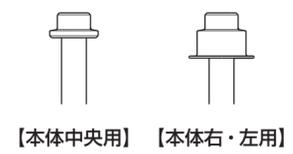
①本体へ各部品を取付けます。

### ガイドローラーの取付け

●ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。

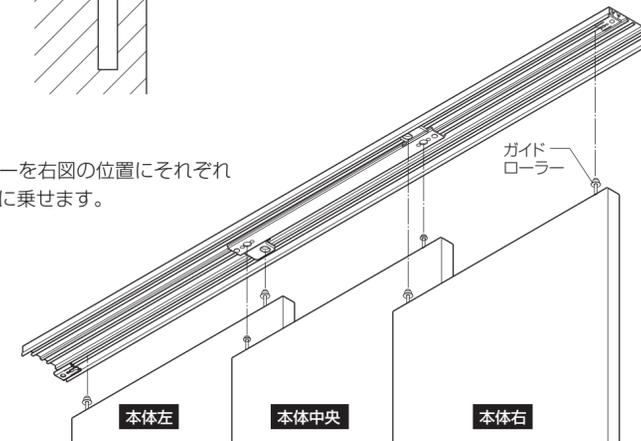


※ガイドローラーの形状は、本体中央用と本体右・左用で異なります。



②本体を枠に吊込みます。

本体上部のガイドローラーを右図の位置にそれぞれ差込み、戸車を下レールに乗せます。



## 引戸の建付け調整

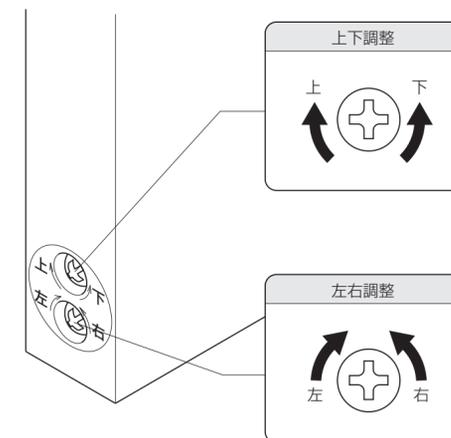
### 上下調整 (調整幅 +4mm、-2mm)

●本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

### 左右調整 (調整幅 ±2mm)

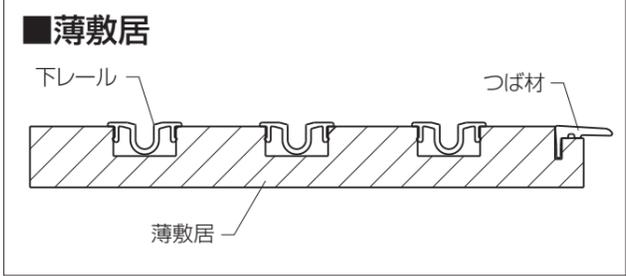
●本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。

※左右調整をする場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。

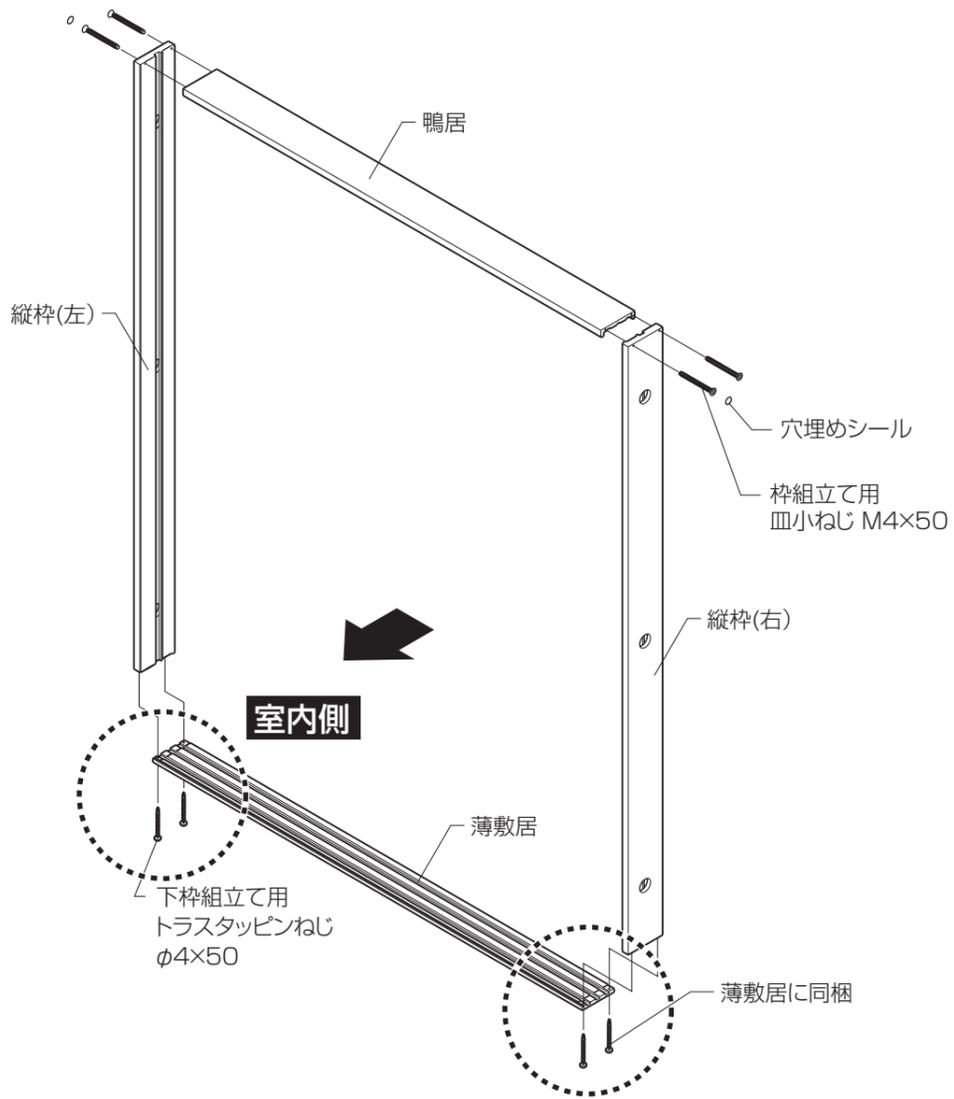


**【薄敷居の場合】**

●図のように各部材を組合せ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50およびトラスタッピンねじφ4×50）で固定します。



※ノンケーシング（NC）枠の場合は、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張ってください。

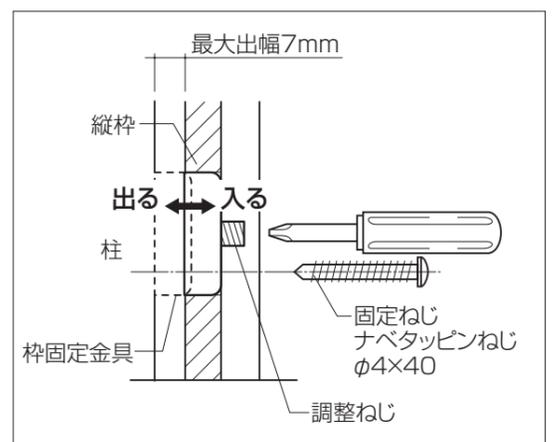
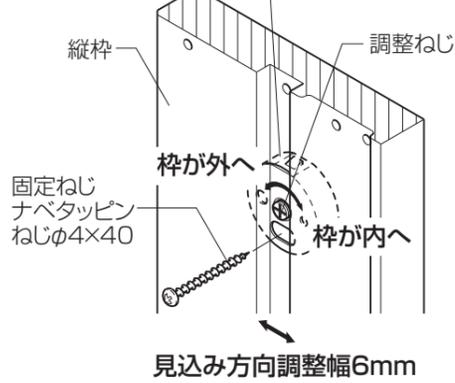


**② 枠の取付け**

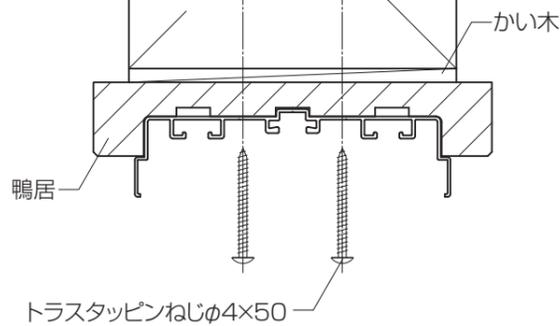
- ①縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
  - ②枠の垂直を確認してください。
  - ③固定ねじ（ナベタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部より締付けてください。
  - ④枠の奥行方向のたおれを確認してください。たおれている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。（見込み方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
  - ⑤枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
  - ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
  - ⑦鴨居にかい木を入れて、水平になるように調整したあと、トラスタッピンねじφ4×50で固定してください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の鴨居取付け用ねじ（トラスタッピンねじφ4×50）で固定してください。

**お願い**  
 ※枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。  
 ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

**■縦枠**

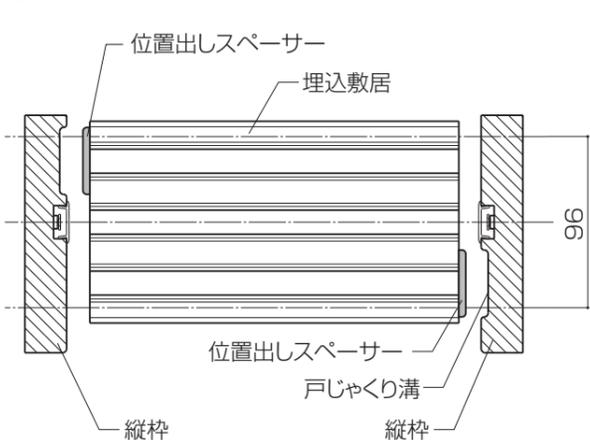


**■鴨居**

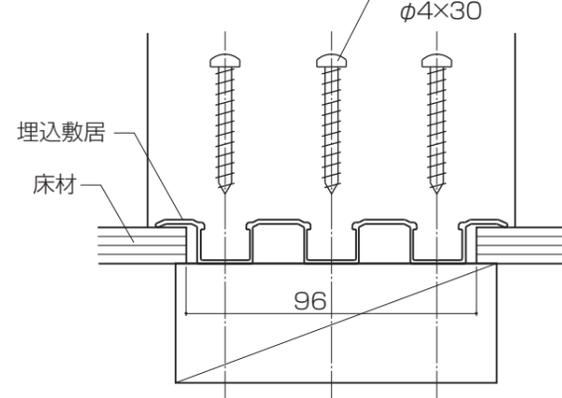


**【埋込敷居の場合】**

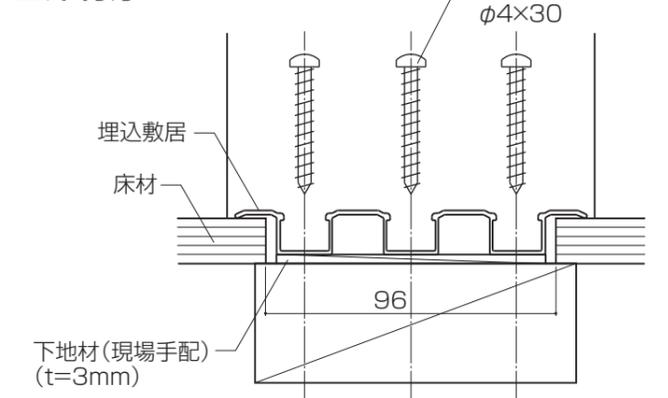
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
- ②同梱のねじで固定します。



**■床材厚さ 12mm**



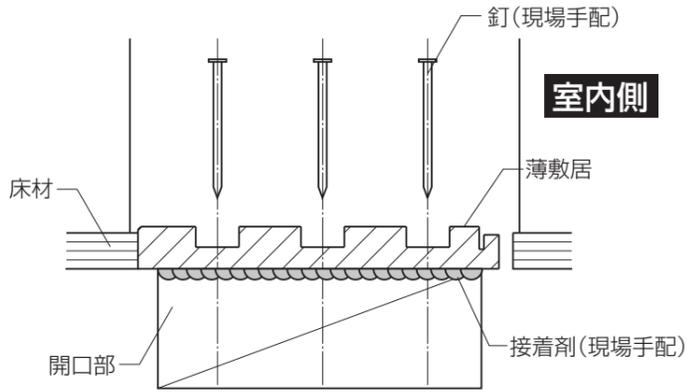
**■床材厚さ 15mm**



## 〔床後張り（枠先付け）の場合〕

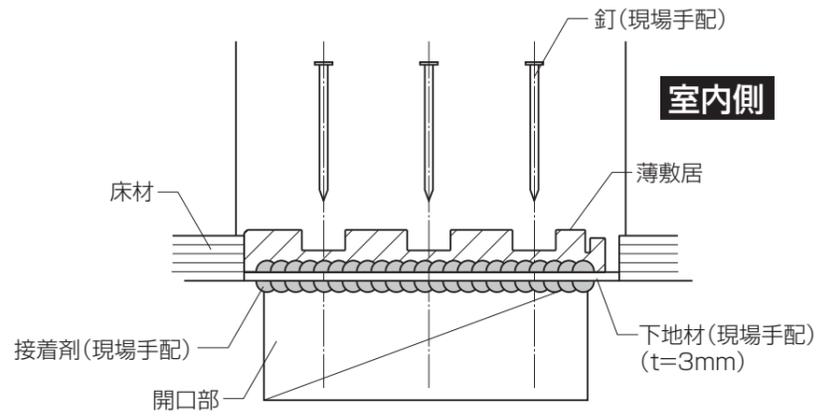
### ■床材厚さ 12mm

※必ず薄敷居に接着剤を付け、躯体に固定してください。  
 ※釘は端部より 100mm 離し、450mm ピッチで接着剤と併用して取付けてください。



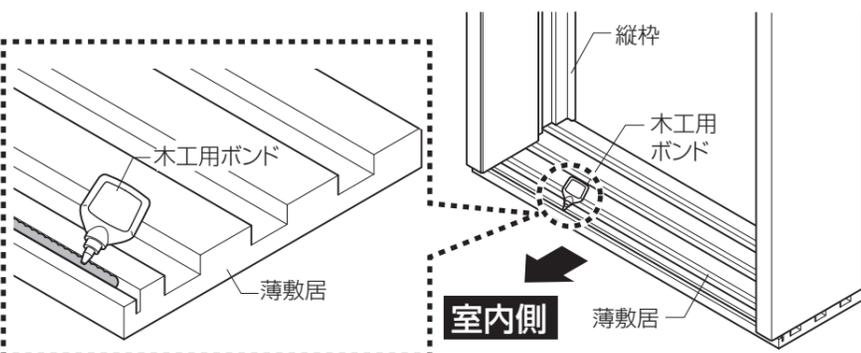
### ■床材厚さ 15mm

※必ず薄敷居と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。

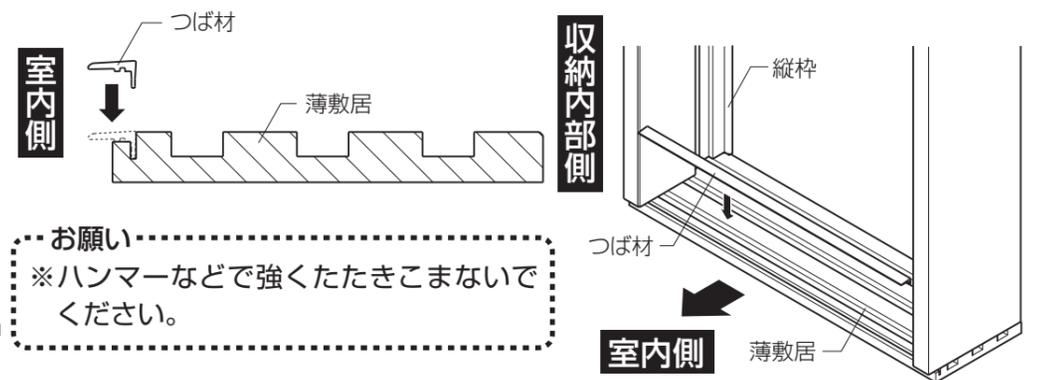


### ③つば材の取付け（薄敷居を使用する場合のみ）

- ①現場でつば材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄敷居の溝に木工用ボンド（現場手配）をつけてください。

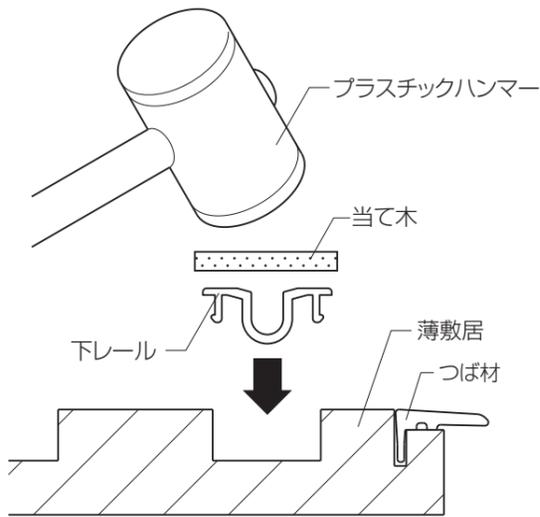


- ③つば材を溝に手ではめこんでください。

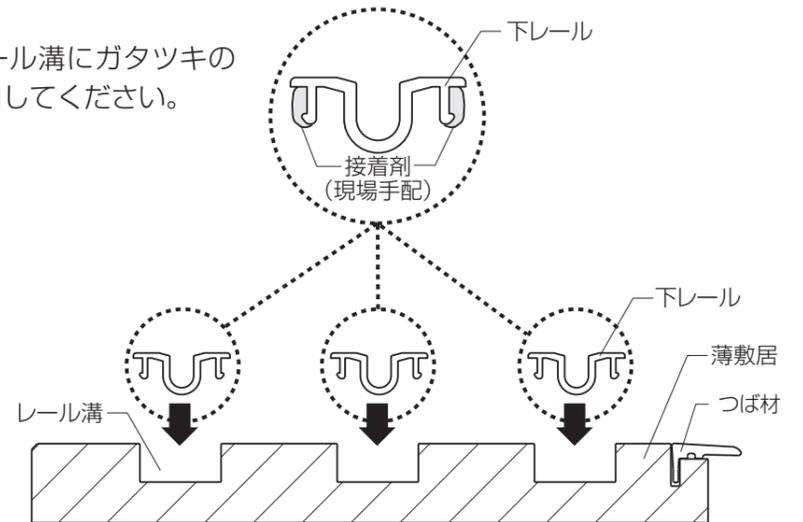


### ④下レールの取付け

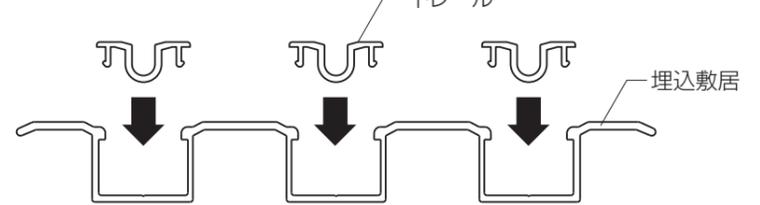
- 下図のように敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



※接着剤は、レール溝にガタツキのある場合に使用してください。



### ■埋込敷居の場合



### ⑤戸当りの取付け

- 戸当りに接着剤（現場手配）をつけて縦枠に取付けます。
- ※戸当りが長い場合は無理に入れずに必要量を切詰めてください。
- ※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。

